

2026年

8月号

駐在所だより むつれ

田原警察署
六連駐在所

海、川、山の事故 危険はいつもすぐそこに
～ちょっとした注意や事前の準備が大切です～



夏は海や川、山など、アウトドアでのレジャーを楽しむ機会が増える季節です。

自然に触れるレジャーは、楽しみがある半面、自然ならではの危険もあります。アウトドアレジャーでの事故を防ぐためには、自然を甘く見ず、危険をきちんと認識し、計画を立てて行動することが大事です

◎ 危険箇所の把握

魚とり・釣りでは、転落等のおそれがある場所、水泳や水遊びでは、水（海）藻が繁茂している場所、水温の変化や水流の激しい場所、深みのある場所等の危険箇所を事前に把握して、近づかないようにしましょう。また、子供を危険な場所には近づけないようにしましょう。

◎ 的確な状況判断

風雨、落雷等の天候不良時や上流で雨が降っているなど、河川の増水のおそれがあるときには、釣りや水泳を行わないようにしましょう。また、体調が悪いとき、飲酒をしたときなどは、海、河川に入らないようにしましょう。

◎ ライフジャケットの活用

ボートや釣り等で水辺に行くときは、必ずライフジャケットを着用しましょう。

ライフジャケットは、体のサイズに合った物を選び、正しく着用しましょう。

◎ 保護者等の付添い

子供の水難防止のため、子供一人では水遊び等をさせず、幼児や泳げない学童等には、必ずライフジャケットを着用させ、保護者等が付き添うなどして、子供から目を離さないようにしましょう。

◎ 子供の事故防止（保護者等の大人が注意して欲しいポイント）

○ 海水浴など、海で遊ぶ時の注意

天候の変化に注意し、悪天候のときには海に出ないようにしましょう。

危険な場所がないか確認し、危険な場所で子供を遊ばせないようにしましょう。

子供だけで遊ばせず、必ず大人が付き添って、子供から目を離さないようにしましょう。

釣りをする時やボートに乗る時は、ライフジャケットを正しく着用させましょう。